



## 資料編

### 1. 関連条例

○中央市子ども・子育て会議条例

平成25年12月27日

条例第25号

(設置)

第1条 子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号。以下「法」という。)第77条第1項の規定に基づき、中央市子ども・子育て会議(以下「会議」という。)を置く。

(定義)

第2条 この条例において使用する用語は、法において使用する用語の例による。

(所掌事務)

第3条 会議は、次に掲げる事務を処理するものとする。

- (1) 特定教育・保育施設の利用定員の設定に関すること。
- (2) 特定地域型保育事業の利用定員の設定に関すること。
- (3) 中央市子ども・子育て支援事業計画の制定及び変更に関すること。
- (4) 本市における子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し、当該施策の実施状況を調査審議すること。

(組織)

第4条 会議は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 子どもの保護者
- (2) 関係団体の代表する者
- (3) 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者
- (4) 子ども・子育て支援に関し学識経験を有する者
- (5) その他市長が必要と認める者

(委員の任期)

第5条 会議の委員の任期は、3年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

(会長及び副会長)

第6条 会議に会長及び副会長を置き、委員の互選により選任する。

2 会長は、会務を総理し、会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務



を代行する。

(会議)

第7条 会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その説明又は意見を聞くことができる。

(庶務)

第8条 会議の庶務は、子育て支援課において処理する。

(会議の運営)

第9条 この条例に定めるもののほか、議事の手続その他会議の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(任期の特例)

2 この条例の施行の日以後最初の委員の任期は、第5条の規定にかかわらず、平成28年3月31日までとする。

(招集の特例)

3 子ども・子育て会議の最初の会議は、第7条第1項の規定に関わらず、市長が招集する。



## 2. 策定経過

年月日	会議等	議題等
平成30年10月5日	平成30年度第1回 子ども・子育て会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1期中央市子ども・子育て支援事業計画の完了について</li> <li>第2期中央市子ども・子育て支援事業計画の策定スケジュールについて</li> <li>ニーズ調査の実施とアンケート内容について</li> </ul>
平成31年1月9日～ 平成31年1月28日	子ども・子育て支援 ニーズ調査実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内在住の未就学児童の保護者 1,235人 (回収数：830・回収率：67.2%)</li> <li>市内在住の小学生の保護者 852人 (回収数：582・回収率：68.3%)</li> </ul>
平成31年3月20日	平成30年度第2回 子ども・子育て会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニーズ調査の結果について</li> <li>次年度の策定スケジュールについて</li> </ul>
令和元年6月27日	令和元年度第1回 子ども・子育て会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1期中央市子ども・子育て支援事業計画「分野別の施策・事業の取り組み」最終年度の見込状況の評価について</li> <li>第2期中央市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュールについて</li> </ul>
令和元年8月29日	令和元年度第2回 子ども・子育て会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニーズ量推計の精査について</li> <li>「計画タイトル」及び「総合目標」の検討について</li> </ul>
令和元年11月26日	令和元年度第3回 子ども・子育て会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画素案の検討</li> </ul>
令和2年1月16日	令和元年度第4回 子ども・子育て会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画素案の検討</li> </ul>
令和2年2月6日～ 令和2年2月25日	パブリックコメント の実施	
令和2年2月27日	令和元年度第5回 子ども・子育て会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>パブリックコメントの結果及び市の考え方について</li> <li>計画素案の承認</li> </ul>

### 3. 委員名簿

○令和元年度 「中央市子ども・子育て会議」委員名簿 (順不同・敬称略)

No.	区分	氏名	所属・役職名	役職
1	学識経験者	小林 基章	こばやしこどもクリニック 院長	
2	子どもの保護者	河西 勇哉	田富地区保育園保護者代表 (田富第一保育園保護者会長)	
3	子どもの保護者	三井 宏泰	玉穂地区保育園保護者代表 (玉穂保育園保護者会長)	
4	子どもの保護者	中山 貴之	豊富地区保育園保護者代表 (豊富保育園保護者会長)	
5	子どもの保護者	西川 朋永	田富地区 PTA 代表 (田富北小 PTA 会長)	
6	子どもの保護者	重田 康二	玉穂地区 PTA 代表 (三村小 PTA 会長)	
7	子どもの保護者	上嶋 建治	豊富地区 PTA 代表 (豊富小 PTA 会長)	
8	関係団体代表者	田中 清	中央市議会厚生常任委員会 委員長	
9	関係団体代表者	田中 正清	中央市教育委員会教育長	
10	関係団体代表者	原田 廣明	中央市青少年育成カウンセラー	
11	関係団体代表者	吉留 光廣	中央市民生委員・児童委員協議会 会長	副会長
12	関係団体代表者	田中三枝子	中央市主任児童委員 代表	
13	関係団体代表者	鷹野 利美	中央市愛育会 会長	
14	子ども・子育て支援事業者	中澤 雅也	認定こども園みかさこども園 理事長	
15	子ども・子育て支援事業者	井口 太	認定こども園わかば幼稚園 理事長	
16	子ども・子育て支援事業者	乙黒いく子	認定こども園まみい・キッズこども園 理事長	
17	子ども・子育て支援事業者	三尾 馨	社会福祉法人ひとふさの葡萄 理事長	会長
18	子ども・子育て支援事業者	平沢 理恵	子育て支援団体 おんぶコアラ代表	



## 4. ニーズ調査票

1. 中央市子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査【未就学児用】
2. 中央市子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査【小学生用】

# 中央市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査 【未就学児用】

皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、本市では、子ども・子育て支援法（2012年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）に沿って、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする「中央市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画的に給付・事業を実施することに取り組んでいます。

この計画期間が2019年度に終了するため、新たに「第2期中央市子ども・子育て支援事業計画」を策定することといたしました。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するにあたり、住民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

皆様からいただいたご回答は、統計的に処理し、個別の回答者や回答内容が公表されることはありません。また、個別の調査結果を他の目的に使用することはありませんので、安心してお答えください。

ご多忙のこととは存じますが、なにとぞ、本調査の趣旨をご理解賜り、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

平成 31 年 1 月

中央市長 田中 久雄

## 【ご記入にあたってのお願い】

- ご回答は、**宛名のお子様の保護者の方**がご記入ください。
- 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、ご注意下さい。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- お手数ですが、ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に封入していただき、**1月28日（月）までに、切手を貼らずに、郵便ポストへご投函ください。**

（園で配付された方は園にお戻しく下さい）

**お問い合わせ先**

中央市役所 子育て支援課

電話：055-274-8557

## 子ども・子育て支援新制度は、次のような考え方に基づいています。

### ～子ども・子育て支援新制度とは～

- 急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することが重要となります。
- 子どもの健やかな成長のためには、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められ、自分は大切な存在だと感じられるように育まれることが必要です。
- 子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

### ～子ども・子育て支援とは～

- 子ども・子育て支援新制度の考え方をもとに、保護者には子育てについて重要な責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を受けやすくなるような支援を行うものです。
- 子ども・子育て支援では、地域や社会が保護者に寄り添い、保護者の子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげ、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるような支援を目指しています。

先般、平成 31 年 10 月から実施予定の幼児教育・保育の無償化について報道がされました。

それによりますと、3 歳～5 歳児の幼稚園・保育所・認定こども園の保育料は原則無償（幼稚園は月 2.57 万円を上限）、その他幼稚園における預かり保育や認可外保育施設の保育料（利用料）についても、保育の必要性の認定事由に該当するお子様に限り月 3.7 万円（預かり保育は幼稚園保育料の上限 2.57 万円を含む）まで無償化の対象となることが示されました。また 0 歳～2 歳児につきましても、住民税非課税世帯に限り無償化の対象（月 4.2 万円を上限）となることが示されました。（平成 30 年 5 月「幼稚園、保育所、認定こども園以外の無償化措置の対象範囲等に関する検討会報告書」より）

今後さらに詳細な内容が示されることと思われませんが、現時点の内容から変更になる場合も想定されます。

今回の調査につきましては、より実態に即したニーズを把握するため、上記の無償化が実施されることを想定した上で、利用の希望等をご回答いただきますようお願い致します。

### 【用語の定義】

- ・ 幼 稚 園 : 学校教育法に定める、3～5 歳児に対して学校教育を行う施設
- ・ 保育所（園） : 児童福祉法に定める、保育を必要とする 0～5 歳児に対して保育を行う施設
- ・ 認定こども園 : 幼稚園と保育所（園）の機能を併せ持つ施設
- ・ 子 育 て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育 : 問 14 までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問 15 以降においては幼児期の施設における教育の意味で用いています

## お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区（小学校区）として当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

選択肢（○は1つ）	該当する自治会名
1. 三村小学校区	井之口一、井之口二、西新居、中楯、新城、上成島、宿成島、新成島、下成島一、下成島二、高橋、極楽寺、若宮
2. 玉穂南小学校区	乙黒、下河東東、下河東西、下河東下、町之田、一町畑、上三条、下三条一、下三条二
3. 田富小学校区	布施第五、新町第一、新町第二、東、臼井阿原第一、臼井阿原第二、新道、東花輪第一、東花輪第二、東花輪第三、清川、桜
4. 田富北小学校区	鍛冶新居、リバーサイド第一、リバーサイド第二、リバーサイド第三、山之神、宮北、布施第三、布施第四
5. 田富南小学校区	西花輪第一、西花輪第二、釜無、飛石、山王第一、山王第二、山王第三、大田和、藤巻、今福、今福新田
6. 豊富小学校区	浅利、木原、高部、大鳥居、関原、久保団地、神明

## 宛名のお子様とご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子様の生年月月をご記入ください（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。

平成	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	年	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	月生まれ
----	---	---	---	------

問3 宛名のお子様のきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子様を含めた人数を、口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子様がいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

1. きょうだいがいる	きょうだい数	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	人	末子の生年月	平成	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	年	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	月生
2. きょうだいはいない									

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子様からみた関係で当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他（                      ）
-------	-------	--------------------------------



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について当てはまる番号1つに〇をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子様の子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。 お子様からみた関係で当てはまる番号1つに〇をつけてください。

- |          |         |         |          |           |
|----------|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他（ ） |
|----------|---------|---------|----------|-----------|

### 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子様の子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。 お子様からみた関係で当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

- |           |           |           |        |
|-----------|-----------|-----------|--------|
| 1. 母親     | 2. 父親     | 3. 祖父母    | 4. 幼稚園 |
| 5. 保育所（園） | 6. 認定こども園 | 7. その他（ ） |        |

問8 宛名のお子様の子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに〇をつけてください。

- |                       |           |           |
|-----------------------|-----------|-----------|
| 1. 家庭（祖父母等へ預けるケースを含む） | 2. 地域     | 3. 幼稚園    |
| 4. 保育所（園）             | 5. 認定こども園 | 6. その他（ ） |

問9 日頃、宛名のお子様をみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

- |                                    |   |        |
|------------------------------------|---|--------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる              | } | →問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる     |   |        |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる          | } | →問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |   |        |
| 5. いずれもない                          |   | →問10へ  |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に〇をつけた方（祖父母等の親族にみてもらえる方）にうかがいます。祖父母等の親族にお子様をみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である                           |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である                    |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい                      |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある                 |
| 6. その他（ ）   |

→問10へ

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方（子どもをみてもらえる友人・知人がいる方）にうかがいます。友人・知人にお子様をみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問 10 宛名のお子様の子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 「いる」または「ある」 → 問 10-1 へ
2. 「いない」または「ない」 → 問 11 へ

問 10-1 問 10 で “1. 「いる」または「ある」” に○をつけた方にうかがいます。お子様の子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |               |                                      |
|---------------|--------------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族    | 2. 友人や知人                             |
| 3. 近所の人       | 4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）<br>やNPO法人 |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育士                               |
| 7. 幼稚園教諭      | 8. 民生委員・児童委員                         |
| 9. かかりつけの医師   | 10. 自治体の子育て関連担当窓口                    |
| 11. その他（ ）    |                                      |

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

## 宛名のお子様の保護者の就労状況についてうかがいます。

問 12 宛名のお子様の保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてうかがいます。

※フルタイム＝1週5日程度・1日8時間程度の就労  
パート・アルバイト等＝フルタイム以外の就労

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中ではない）</li> <li>2. フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中である）</li> <li>3. パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中ではない）</li> <li>4. パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中である）</li> <li>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</li> <li>6. これまで就労したことがない</li> </ol> | <div style="font-size: 3em;">}</div> <p>→(1)-1へ</p> |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</li> <li>6. これまで就労したことがない</li> </ol>   | <div style="font-size: 3em;">}</div> <p>→(2)へ</p>   |

(1) - 1 (1) で「1.～4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。

1週当たり  日                      1日当たり   時間

(1) - 2 (1) で「1.～4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、(例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。

家を出る時刻   時                      帰宅時刻   時

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイムで就労（育休・介護休業中ではない）</li> <li>2. フルタイムで就労（育休・介護休業中である）</li> <li>3. パート・アルバイト等で就労（育休・介護休業中ではない）</li> <li>4. パート・アルバイト等で就労（育休・介護休業中である）</li> <li>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</li> <li>6. これまで就労したことがない</li> </ol> | <div style="font-size: 3em;">}</div> <p>→(2)-1へ</p> |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</li> <li>6. これまで就労したことがない</li> </ol>   | <div style="font-size: 3em;">}</div> <p>→問 14へ</p>  |

(2)-1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	----

(2)-2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

家を出る時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	帰宅時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時
--------	----------------------	----------------------	---	------	----------------------	----------------------	---

問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。  
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

<ol style="list-style-type: none"><li>1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある</li><li>2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li><li>3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望</li><li>4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい</li></ol>
--

(2) 父親

<ol style="list-style-type: none"><li>1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある</li><li>2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li><li>3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望</li><li>4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい</li></ol>
--

問 14 問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください (数字は一桁に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが   歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

→ 希望する就労形態  
(番号に○、②は□  
に数字を記入)

- ①. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)  
②. パートタイム、アルバイト等 (「①」以外)

→ 1 週当たり  日 1 日当たり   時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが   歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

→ 希望する就労形態  
(番号に○、②は□  
に数字を記入)

- ①. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)  
②. パートタイム、アルバイト等 (「①」以外)

→ 1 週当たり  日 1 日当たり   時間



問 15-3 現在、定期的に利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。また、中央市外の場合は具体的な市町村名を1つご記入ください。

1. 中央市内

2. 中央市外（市町村名： \_\_\_\_\_ ）

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方に就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方に病気や障がいがある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ \_\_\_\_\_ ）

⇒ 問 16 へ

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。  
また8. の場合は□に年齢を記入してください。

1. （「子どもの教育や発達のため」、「子どもの母親か父親が就労していない」などの理由で）利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ □ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（ \_\_\_\_\_ ）

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子様の平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所（園）の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（園）（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育園（所）の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する保育施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. 今後利用する予定はない
13. その他（ ）

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。また、中央市外の場合は具体的な市町村名を1つご記入ください。

1. 中央市内

2. 中央市外（市町村名： ）

問 16-2 問16で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～11のいずれかにも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. はい

2. いいえ

## 宛名のお子様の地域の子育て支援

### 事業の利用状況についてうかがいます。

問 17 宛名のお子様は、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、中央市では、ちやいんど広場、まちかど保育園と呼ばれています）等を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）  
1 週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ 回程度
2. その他中央市で実施している類似の事業（例：おやこふれあい広場（児童館））  
1 週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ 回程度
3. 利用していない



問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業等について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい 1 週当たり <input type="checkbox"/> 回 もしくは 1 ヶ月当たり <input type="checkbox"/> 回程度 2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい 1 週当たり 更に <input type="checkbox"/> 回 もしくは 1 ヶ月当たり 更に <input type="checkbox"/> 回程度 3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
---

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑪の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

事業名	A 知っている		B これまでに利用した ことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
回答例	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
①母親学級、パパママ教室	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②育児学級 (離乳食教室・事故防止)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③すこやか相談	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
④わくわくママクラス (子育てセミナー)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑤教育相談	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑥児童館の子育て支援事業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑦中央市子育てガイドブック	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑧民間の子育て支援施設	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑨中央市子育てアプリ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑩親子教室	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑪つどいの広場「笑」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**宛名のお子様の土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な  
教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

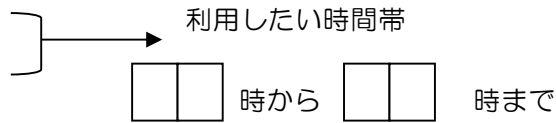
問 20 宛名のお子様について、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所（園）、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

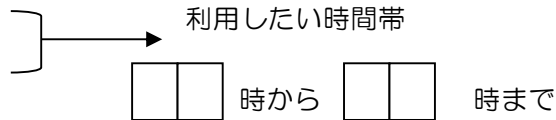
(1) 土曜日

- 1. 利用する必要はない
- 2. ほぼ毎週利用したい
- 3. 月に1～2回は利用したい



(2) 日曜・祝日

- 1. 利用する必要はない
- 2. ほぼ毎週利用したい
- 3. 月に1～2回は利用したい



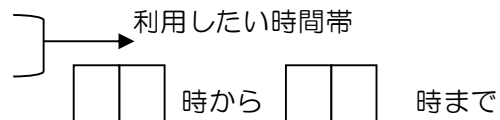
問 20-1 問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、月に1～2回利用したい理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 月に数回仕事が入るため
- 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他 ( )

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子様について、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- 1. 利用する必要はない
- 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
- 3. 休みの期間中、週に数日利用したい



問 21-1 問 21 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、週に数日利用したい理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 週に数回仕事が入るため
- 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他 ( )

宛名のお子様の病気の際の対応についてうかがいます。

(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問 15 で1に○をつけた方)にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 23 にお進みください。

この1年間(平成30年1月~12月)に、宛名のお子様が病気やケガで通常の教育・保育の事業が利用できなかったことはありましたか。

1. あった → 問 22-1 へ

2. なかった → 問 23 へ

問 22-1 宛名のお子様が病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間(平成30年1月~12月)に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

1年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	日
2. 母親が休んだ	日
3. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た	日
4. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	日
5. 病児・病後児の保育事業を利用した	日
6. ベビーシッターを利用した	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
9. その他 ( )	日

→ 問 22-1 で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい →   日 → 問 22-3 へ

2. 利用したいとは思わない → 問 22-4 へ

→ 問 22-5 へ

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 施設（例：幼稚園・保育所（園）等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業  
（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ )

→問 23 へ

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安がある
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ )

→問 23 へ

問 22-1 で「3.」～「9.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-5 その際「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「3.」から「9.」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても 数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい →仕事を休んで見たかった日数   日 → 問 23 へ
2. 休んで看ることは非常に難しい → 問 22-6 へ
3. 就労していない者がいるので、問題ない → 問 23 へ

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（ )

**宛名のお子様の不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う  
一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 23 宛名のお子様について、日中の定期的な保育やお子様の病気のための保育以外に、私用、親の通院、就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに〇をつけ、1年間（平成30年1月～12月）の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所(園)などで一時的に子どもを保育する事業)	日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	日
4. ベビーシッター	日
5. その他( )	日
6. <input type="text" value="利用していない"/>	

→問 24 へ

→問 23 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他( )	

問 24 宛名のお子様について、私用、親の通院、就労等の目的で、年間何日くらい不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください）。

※なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい		計	日
	ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的		日
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等		日
	ウ. 不特定の就労		日
	エ. その他（ ）		日
2. 利用する必要はない →問 25 へ			

問 24-1 へ

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子様を預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所（園）等）</li> <li>2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）</li> <li>3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）</li> <li>4. その他（ ）</li> </ol> |
|--|

問 25 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子様を泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この 1 年間（平成 30 年 1 月～12 月）の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。

	1 年間の対処方法	泊数
1. あった	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	泊
	イ.短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	泊
	ウ.イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
	カ. その他（ ）	泊
2. なかった		

ア. 以外を選択した方は →問 26 へ

問 25-1 問 25 で「1. あった ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- |             |                  |               |
|-------------|------------------|---------------|
| 1. 非常に困難だった | 2. どちらかというと困難だった | 3. 特に困難ではなかった |
|-------------|------------------|---------------|

**宛名のお子様は5歳以上である方に、小学校就学後の  
放課後の過ごし方についてうかがいます。**

→ 5歳未満の方は、問30へ

問26 宛名のお子様について、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ（学童保育）」

…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

回答例	
① 自宅	週 5 日くらい
1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童館 ※1	週 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 日くらい → 下校時から 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブ（学童保育）の利用を希望する場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問27 宛名のお子様について、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

回答例	
① 自宅	週 5 日くらい
1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童館 ※1	週 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 日くらい → 下校時から 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブ（学童保育）の利用を希望する場合は「6.」に回答

問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子様について、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。

(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号 1つ に○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 土曜日	
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} → 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用希望はない	
	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
(2) 日曜・祝日	
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} → 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用希望はない	
	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで

問 29 宛名のお子様について、お子様の夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} → 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用希望はない	
	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで



**すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など  
職場の両立支援制度についてうかがいます。**

問 30 宛名のお子様がお生まれの時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、また、取得していない方はその理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない	3. 取得していない



取得していない理由 (当てはまる番号すべてに○をつけてください)	取得していない理由 (当てはまる番号すべてに○をつけてください)
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	3. 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた	7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した	10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	14. その他( )
15. その他( )	

問 30-1 子どもが原則1歳(保育所(園))における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月、さらにそれ以後も同様の要件を満たす場合には再延長でき、最長2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組みや子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。  
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた</li> <li>2. 育児休業給付のみ知っていた</li> <li>3. 保険料免除のみ知っていた</li> <li>4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった</li> </ul> |
|--|

問 30 で「1. 働いていなかった」、「3. 取得していない」と回答した方は、問 31 へ

以下は、問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した    2. 現在も育児休業中である    3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した    2. 現在も育児休業中である    3. 育児休業中に離職した

問 30-2 の (1)、(2) のいずれか又は両方で

「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方は、問 30-3 へ

「2. 現在も育児休業中である」、を回答した方は、問 30-9 へ

「3. 育児休業中に離職した」と回答した方は問 31 へそれぞれお進みください。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）入所に合わせたタイミングでしたか。

あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つ に○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所（園）入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所（園）に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所（園）に入園できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった    2. それ以外だった

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった    2. それ以外だった

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子様は何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間 □ 歳 □□ ヶ月    希望 □ 歳 □□ ヶ月

(2) 父親

実際の取得期間 □ 歳 □□ ヶ月    希望 □ 歳 □□ ヶ月

問 30-5 お勤め先に、育児のために 3 歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子様は何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

□ 歳 □□ ヶ月

(2) 父親

□ 歳 □□ ヶ月

**問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。**

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入るため       | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ ）                |                         |

② 父親

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入るため       | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ ）                |                         |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため     | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため  | 6. その他（ ）                 |

② 父親

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため     | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため  | 6. その他（ ）                 |

**問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。**

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

(1) 母親

- |   |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した                                   |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）             |

(2) 父親

- |   |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した                                   |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）             |

**問 30-7 で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。**

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

**(1) 母親**

- |  |
|--|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった               |
| 2. 仕事が忙しかった                              |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される                     |
| 4. 短時間勤務にすると保育所（園）の入園申請の優先順位が下がる         |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した               |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた |
| 7. 子育てや家事に専念するため退職した                     |
| 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）         |
| 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった                |
| 10. その他（ )                               |

**(2) 父親**

- |  |
|--|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった               |
| 2. 仕事が忙しかった                              |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される                     |
| 4. 短時間勤務にすると保育所（園）の入園申請の優先順位が下がる         |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した               |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた |
| 7. 子育てや家事に専念するため退職した                     |
| 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）         |
| 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった                |
| 10. その他（ )                               |

**問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。**

問 30-9 宛名のお子様が1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

**(1) 母親**

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

**(2) 父親**

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

最後に、中央市の子育て関連の取り組み

全般についてうかがいます。

問 31 中央市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

不満	やや不満	普通	やや満足	満足
1	2	3	4	5

問 32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。


調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ、1月28日までに投函してください。

(または園にお戻しく下さい)

# 中央市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査 【小学生用】

皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、本市では、子ども・子育て支援法（2012年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）に沿って、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする「中央市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画的に給付・事業を実施することに取り組んでいます。

この計画期間が2019年度に終了するため、新たに「第2期中央市子ども・子育て支援事業計画」を策定することといたしました。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するにあたり、住民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

皆様からいただいたご回答は、統計的に処理し、個別の回答者や回答内容が公表されることはありません。また、個別の調査結果を他の目的に使用することはありませんので、安心してお答えください。

ご多忙のこととは存じますが、なにとぞ、本調査の趣旨をご理解賜り、ご回答いただきますようお願い申し上げます

平成 31 年 1 月

中央市長 田中 久雄

## 【ご記入にあたってのお願い】

1. ご回答は、**宛名のお子様の保護者の方**がご記入ください。
2. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、ご注意ください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
3. お手数ですが、ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に封入していただき、**1月28日（月）までに、切手を貼らずに、郵便ポストへご投函ください。**

## お問い合わせ先

中央市役所 子育て支援課 電話：055-274-8557

## 子ども・子育て支援新制度は、次のような考え方に基づいています。

### ～子ども・子育て支援新制度とは～

- 急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することが重要となります。
- 子どもの健やかな成長のためには、一人ひとりがかげがえのない個性ある存在として認められ、自分は大切な存在だと感じられるように育まれることが必要です。
- 子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

### ～子ども・子育て支援とは～

- 子ども・子育て支援新制度の考え方をもとに、保護者には子育てについて重要な責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を受けやすくなるような支援を行うものです。
- 子ども・子育て支援では、地域や社会が保護者に寄り添い、保護者の子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげ、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

### 【用語の定義】

- ・ 子 育 て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育 : 家庭での教育を含めた広い意味で用いています。

## お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区（小学校区）として当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

選択肢（○は1つ）	該当する自治会名
1. 三村小学校区	井之口一、井之口二、西新居、中楯、新城、上成島、宿成島、新成島、下成島一、下成島二、高橋、極楽寺、若宮
2. 玉穂南小学校区	乙黒、下河東東、下河東西、下河東下、町之田、一町畑、上三条、下三条一、下三条二
3. 田富小学校区	布施第五、新町第一、新町第二、東、臼井阿原第一、臼井阿原第二、新道、東花輪第一、東花輪第二、東花輪第三、清川、桜
4. 田富北小学校区	鍛冶新居、リバーサイド第一、リバーサイド第二、リバーサイド第三、山之神、宮北、布施第三、布施第四
5. 田富南小学校区	西花輪第一、西花輪第二、釜無、飛石、山王第一、山王第二、山王第三、大田和、藤巻、今福、今福新田
6. 豊富小学校区	浅利、木原、高部、大鳥居、関原、久保団地、神明

## 宛名のお子様とご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子様の生年月と学年をご記入ください（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。

平成	□□	年	□□	月生まれ	小学	□	年生
----	----	---	----	------	----	---	----

問3 宛名のお子様のきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子様を含めた人数を、□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子様がいいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

1. きょうだいがいる	きょうだい数	□	人	末子の生年月	平成	□□	年	□□	月生
2. きょうだいはいない									

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子様からみた関係で当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他（                      ）
-------	-------	--------------------------------



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる                      2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子様の子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子様からみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに    2. 主に母親    3. 主に父親    4. 主に祖父母    5. その他（                      ）

### 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子様の子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子様からみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 母親    2. 父親    3. 祖父母    4. 小学校    5. その他（                      ）

問8 宛名のお子様の子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭（祖父母等へ預けるケースを含む）                      2. 地域                      3. 小学校  
4. その他（                      ）

問9 日頃、宛名のお子様をみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                    |   |        |
|------------------------------------|---|--------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる              | } | →問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる     |   |        |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる          | } | →問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |   |        |
| 5. いずれもない                          |   | →問10へ  |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方（祖父母等の親族にみてもらえる方）にうかがいます。祖父母等の親族にお子様をみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる  
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である  
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である  
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい  
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある  
6. その他（                      ）

→問10へ

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方（子どもをみてもらえる友人・知人がいる方）にうかがいます。友人・知人にお子様をみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問10 宛名のお子様の子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 「いる」または「ある」 → 問10-1 へ
2. 「いない」または「ない」 → 問11 へ

問10-1 問10で“1. 「いる」または「ある」”に○をつけた方にうかがいます。お子様の子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                  |                                      |
|------------------|--------------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族       | 2. 友人や知人                             |
| 3. 近所の人          | 4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）<br>やNPO法人 |
| 5. 保健所・保健センター    | 6. 学校等                               |
| 7. 民生委員・児童委員     | 8. かかりつけの医師                          |
| 9. 自治体の子育て関連担当窓口 | 10. その他（ ）                           |

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

**宛名のお子様の保護者の就労状況についてうかがいます。**

問 12 宛名のお子様の保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてうかがいます。

※フルタイム＝1週5日程度・1日8時間程度の就労  
 パート・アルバイト等＝フルタイム以外の就労

(1) **母親** 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中ではない） 2. フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中である） 3. パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中ではない） 4. パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中である） 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	} →(1)-1へ } →(2)へ
--	----------------------

(1) -1 (1) で「1.～4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。  
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（口内に数字  
 でご記入ください。数字は一桁に一字）。

1週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日	1日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間
---	--

(1) -2 (1) で「1.～4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターン  
 についてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答  
 えください。時刻は、(例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください（口内に数字で  
 ご記入ください。数字は一桁に一字）。

家を出る時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時	帰宅時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時
--	--

(2) **父親** 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. フルタイムで就労（育休・介護休業中ではない） 2. フルタイムで就労（育休・介護休業中である） 3. パート・アルバイト等で就労（育休・介護休業中ではない） 4. パート・アルバイト等で就労（育休・介護休業中である） 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	} →(2)-1へ } →問 14へ
--	-----------------------

(2)-1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。  
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(口内に数字でご記入  
ください。数字は一枠に一字)。

1週当たり  日                      1日当たり  時間

(2)-2 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターン  
についてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えくだ  
さい。時刻は、(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字で  
ご記入ください。数字は一枠に一字)。

家を出る時刻  時                      帰宅時刻  時

問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけ  
た方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) **母親**

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) **父親**

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 14 問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください (数字は一桁に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが   歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

→ 希望する就労形態  
(番号に○、②は□  
に数字を記入)

- ①. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)  
②. パートタイム、アルバイト等 (「①」以外)

→ 1 週当たり  日 1 日当たり   時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが   歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

→ 希望する就労形態  
(番号に○、②は□  
に数字を記入)

- ①. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)  
②. パートタイム、アルバイト等 (「①」以外)

→ 1 週当たり  日 1 日当たり   時間

## 宛名のお子様の病気の際の対応についてうかがいます。

問 15 この1年間（平成 30 年 1 月～平成 30 年 12 月）に、宛名のお子様が病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった → 問 15-1 へ

2. なかった → 問 16 へ

問 15-1 宛名のお子様が病気やケガで学校を休んだ場合、この1年間（平成 30 年 1 月～12 月）に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

1 年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	日
2. 母親が休んだ	日
3. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た	日
4. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを見てもらった	日
5. 病児・病後児の施設を利用した	日
6. ベビーシッターを利用した	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
9. その他 ( )	日

→ 問 15-1 で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 15-2 その際、「できれば病児・病後児のための施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児施設等を利用したい →   日 → 問 15-3 へ

2. 利用したいとは思わない → 問 15-4 へ

→ 問 15-5 へ

問 15-3 問 15-2 で「1. できれば病児・病後児施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 施設（例：児童館・児童養護施設等）に併設した施設
2. 小児科に併設した施設
3. ファミリー・サポート・センター
4. その他（ )

→問 16 へ

問 15-4 問 15-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安がある
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ )

→問 16 へ

問 15-1 で「3.」～「9.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 15-5 その際「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「3.」から「9.」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい → 仕事を休んで見たかった日数   日 → 問 16 へ
2. 休んで看ることは非常に難しい → 問 15-6 へ
3. 就労していない者がいるので、問題ない → 問 16 へ

問 15-6 問 15-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（ )

## 放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 16 宛名のお子様について、現在放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、希望としてはどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ（学童保育）」

…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

放課後を過ごす場所[複数選択可]	1週当たりの日数[数字を記入]	
	現 状	希 望
回答例 ①. 自宅	週 <input type="text" value="5"/> 日くらい	週 <input type="text" value="1"/> 日くらい
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、 学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館 ※1	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ （学童保育）	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> 時まで	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブ（学童保育）を利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。



**宛名のお子様が小学校3年生以下の方にかがいます。**

→宛名のお子様が小学校4年生以上の場合は、問18へ

問17 宛名のお子様について、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は（例）18時のように24時間制でご記入ください。

放課後を過ごさせたい場所[複数選択可]	1週当たりの希望日数[数字を記入]
回答例 ①. 自宅	週 <input checked="" type="checkbox"/> 5 日くらい
1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館 ※1	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブ（学童保育）を利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

- 問 18 問 16 または問 17 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。  
宛名のお子様について、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。  
（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1つ に○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 土曜日	
1. 利用したい	—————▶ 利用したい時間帯
2. 利用希望はない	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
(2) 日曜・祝日	
1. 利用したい	—————▶ 利用したい時間帯
2. 利用希望はない	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで

- 問 19 宛名のお子様について、お子様の夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。  
※なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	—————▶ 利用したい時間帯
2. 利用希望はない	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで

最後に、中央市の子育て関連の取り組み  
全般についてうかがいます。

問 20 中央市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

不満	やや不満	普通	やや満足	満足
1	2	3	4	5

問 21 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。


調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ、1月28日までに投函してください。